

CityView!

「CityView!」では、市のイベントや地域的话题を、皆さんにお届けします。
掲載した写真は、データで提供します。希望の方は問い合わせください。>



1000発の花火 色鮮やかに



令和7年度 東松島市鳴瀬流灯花火大会

恒例の東松島市鳴瀬流灯花火大会が、今年も鳴瀬川左岸河川敷で行われました。施餓鬼供養の後、河川敷の特設ステージでは鳴瀬鼓心太鼓のメンバーが勇壮な演奏を繰り上げ、祭りの開幕に花を添えました。川面には約250個の灯ろうが浮かび、フィナーレでは約1,000発の花火が夜空を照らしました。(8月16日)



今年もオリジナルフレーム切手発行

日本郵便が地域の魅力発信とブルーインパルスのまち・東松島市の認知度向上を目的に制作した「ブルーインパルス オリジナルフレーム切手」が今年も3,100セット発行され、市役所で贈呈式が行われました。また、ブルーインパルスに関連したデジタルスタンプラリーのお披露目もありました。(8月7日)

ブルーインパルスの まち認知度向上へ

上下堤・川下地区 ほ場整備開始へ安全祈願



農家の経営安定化へ

上下堤・川下地区の「農業競争力強化農地整備事業中山間地域型」(ほ場整備)の着工に伴う安全祈願祭が行われました。総事業費は21億6千万円、工期は令和12年度までを予定。豪雨災害軽減のほか、効率的な農業の実現に向け、関係者約50人が工事の安全を祈願しました。(8月8日、小野市民センター)



東松島観光物産公社

観光振興に 役立てて

道の駅東松島を運営する株式会社東松島観光物産公社の小山 修 社長が、道の駅の収益の一部100万円を同市に寄付しました。市は道の駅に、ブルーインパルスの退役機を設置する計画で、クラウドファンディングで資金を募集中。小山社長は「退役機設置費用を含めて、市の観光振興に役立ててください」と話していました。(8月7日、市役所)

よりよい まちづくりへ 意見交換

宮戸地区市政懇談会



宮戸地区市政懇談会には地域住民ら16人が参加し、渥美市長や市役所各部課長からの市政報告や市第3次総合計画の在り方などに耳を傾けました。懇談会の後半では、参加者の皆さんから質問や要望などが投げかけられ、活発な意見交換を交わしました。

(7月28日、あおみな)

幼稚園・保育所(園)・小学校連携など共有

第1回総合教育会議



本年度の第1回総合教育会議では、市長や教育委員ら20人が集い、幼保小連携の在り方や部活動の地域移行に向けた取組、デジタルメディアコントロール(でめこん)の広がりに関する情報共有を行いました。関係機関がさらにつながりを強めて、児童生徒の健全育成につなげる大切さを共有しました。(8月21日、市役所)

第2次案の検討進める

東松島市男女共同参画審議会

令和7年度第1回市男女共同参画審議会が開催され、八木副市長から門岡義典会長へ諮問書を手渡しました。現在、国と宮城県で新たな計画の検討が進められており、本市ではそれらを踏まえた取組としていくことから、令和7年度および令和8年度に開催される審議会において市基本計画(第1次)の進捗状況等を成果検証しながら、「市男女共同参画基本計画(第2次)」案の検討を行っています。(8月4日、市役所)





東松島で強化合宿

デフサッカー日本代表

11月15日から日本で開かれる聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」に向け、デフサッカー男子日本代表が8月22日から3日間、鷹来の森運動公園で強化合宿を行いました。デフリンピックのサッカー競技は福島県のJヴィレッジで開かれ、男子は16チーム、女子は6チームで競う予定です。



東松島サッカーフェスティバル

市内外スポ少20チームが参加

浦和学院旗・毎日興業杯争奪東松島サッカーフェスティバルには、市内外のサッカースポーツ少年団20チームが参加し、4グループに分かれた予選と決勝トーナメントを繰り広げました。夏の暑さに負けず、ピッチを駆けた選手たちは、大会を通して友情を深め合っていました。
(8月2日～3日、奥松島運動公園多目的グラウンド)



空手道の全国大会に挑む

小中学生8人 渥美市長を表敬訪問

長野県で8月16日に開催される「第33回全国中学生空手道選手権大会」、東京都足立区で21日から始まる「第25回全日本少年少女空手道選手権大会」(全少)への出場を前に、市内の小中学生8人が渥美市長を表敬訪問し、上位入賞に向けた意気込みを語りました。
(8月8日、市役所)



陸上スポ少 市内小学6年生5人 渥美市長を表敬訪問

東松島市ATHLE陸上スポーツ少年団の選手が渥美市長を表敬訪問しました。県予選の上位入賞者が出場する青森県で8月11日に開催された「2025東日本道県小学生陸上競技交流大会」に出場した男女混合100mリレーチームが活躍を報告、また11月に神奈川県で行われる「日清食品カップ第41回全国小学生陸上競技交流大会」にコンバインドA競技(80mハードル・走り高跳び)で出場する土井遼空さん(矢本東小)は県予選で見事1位に輝き、全国大会でのさらなる飛躍を誓いました。
(8月26日、市役所)



更別村児童13人が野外体験

海と大地子ども交流

友好姉妹都市である北海道更別村との「海と大地子ども交流事業」で、今年は更別村の小学5・6年生13人が本市を訪問しました。本市児童10人と3泊4日の日程で、宮戸島を舞台とした野外体験を通じて親睦を深めたほか、道の駅東松島での買い物も楽しみました。
(8月8日～11日、松島自然の家、小野市民センターなど)



大東文化大学 フレンドシップ公開講座

親子で楽しむ理科の実験

東松島市と地域連携基本協定を締結している大東文化大学による親子向け企画「フレンドシップ公開講座」が今年も開催されました。同大の教授が、「化石ができる仕組みを学ぼう」「植物の種を観察・実験してみよう」という2つの講座を設け、子どもたちはいずれも興味津々の様子で受講。理科の奥深さや楽しさを感じていました。(8月1日～3日、矢本西市民センターなど)



避難所に食料や飲料を無償提供

フレスコキクチ矢本店に感謝状

7月30日にロシアのカムチャツカ半島付近で発生した地震に伴う津波警報発表時に、市民センターなどに自主避難した人々に向けて、食料や飲料水などの支援物資約200人分を無償提供いただいたフレスコキクチ矢本店に対して、市が感謝状を贈呈しました。贈呈式は市役所であり、八木副市長から伊藤唯店長へ手渡しました。
(8月27日)



長年の道路愛護で表彰

赤井地区自治協議会が国交省東北地方整備局長から感謝状

長年の道路愛護に努めたとして赤井地区自治協議会が、国土交通省東北地方整備局長から感謝状の贈呈を受けました。渥美市長に受賞の報告に訪れた同協議会の齋藤英彦会長は「今回はたまたま赤井地区が感謝状をいただきましたが、市内はどの地区も毎年住民一丸できれいに植栽をしています。皆さんの頑張りが認められた証だと思います」と話していました。
(9月8日、市役所)